



乾癬は皮膚の症状以上に精神的な影響を与えます。差別、侮辱、人の目は、深く心を傷つけます。クリアな肌や、ほぼクリアな肌を取り戻した人は、こうした日々の苦悩から解放されています。

これらの患者さんの想いは、日本を含む世界31カ国にわたり、25の患者団体の協力により、8,338人の中等症から重症な乾癬患者さんが参加した過去最大規模の乾癬患者調査「Clear about Psoriasis Patient Survey（クリアな肌に関する乾癬患者調査）」の結果に基づくものです。

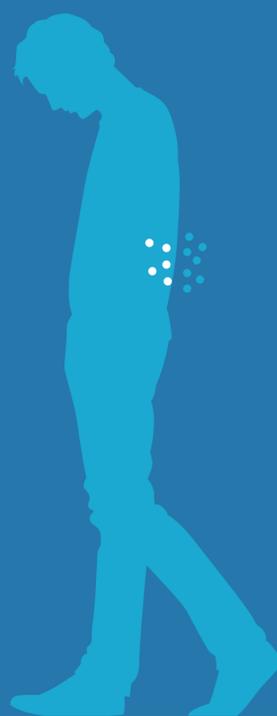


## 84%

の乾癬の患者さんは、差別や侮辱された経験がある。

45%の患者さんは、「うつる病気か」と聞かれたことがある。

40% は、公衆の面前で皮膚をジロジロ見られたりした経験がある。



40%は恥ずかしいと思っている。



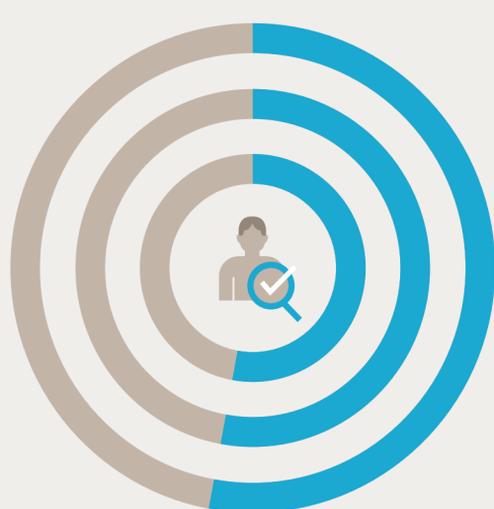
51%は、肌について人目を気にしている。



32%は、乾癬により憂鬱な気分になる。



25%が不安神経症、24%はうつと診断されている。



## 57%

が「クリアな肌」を取り戻すことが出来ないと考えている。

クリアな肌を取り戻すための第一歩は、皮膚科医にクリアな肌を取り戻すためには、どのような事をしたらよいのか一緒に考えて欲しいとお願いすることです。